

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)	良く なっている やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・大河ドラマの話題性が、紅葉祭りの人出は大変多い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・マイナンバー写真撮影の需要が急増してきている。障害者や高齢者が多く、前年比で150%にはなるものの、他の商品の販売には結びつかない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・商品のうち、特に新規商品の動きが良くなってきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比、110%くらいで推移している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・日々の来客数が、以前より少しずつだが増加している。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・客の入込が良い。要因としては、ふるさと旅行券による需要の喚起があるようである。また、外国人旅行者も増えてきている。送迎バスの規制強化により、関東から近い長野県東信エリアは長距離バスの動きもやや良くなっているようである。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前月も話したが、同規模のホテルがリニューアルで閉鎖しており、その分こちらに流れてきている。また、北陸新幹線延伸開業により、北陸や長野をテーマにしたような会議が、市内で結構あったようである。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・前月に比べて、販売量が増加している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・雪見のインパウンド客が多く、来客数は前年と比べても大幅に伸びている。それに比例し、売上高も好調に推移している。
		ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・天候によって来客数は左右されるが、前年をやや下回ったものの、まずまずである。
その他サービス 【葬祭業】（経営者）	お客様の様子	・問い合わせがたくさん来ている。この商売は営業をすればするほど、人が亡くなるというわけではないが、準備のできる方たちは、問い合わせをしてきてくれる。		
変わらない		商店街（代表者）	単価の動き	・ランドセル販売については、高額品が路面店ではほとんど動かない。また、単価の低い商品を見て回り、結果的に大型店に行ってしまうている。
		一般小売店【精肉】（経営者）	お客様の様子	・紅葉が見ごろで、多くの人は出かけている。地元は文化祭などで少しはにぎわったが、肝心なイベントを開催する休日が雨となり、盛り上がりには欠けている。動きは緩やかである。
		一般小売店【家電】（経営者）	お客様の様子	・相変わらず必要な物のみの購入が続いている。必要に迫られての購入のため、売手の施策には乗ってこない。プレミアム付商品券の動きも鈍くなり、商品の動きは静かである。
		一般小売店【家電】（経営者）	販売量の動き	・最近、法人等からの注文が少し出てきているものの、一般商品には、特に目立った動きはない。
		一般小売店【青果】（店長）	単価の動き	・入荷量が多いせいもあると思うが、野菜や果物などは市場では全体的にかなり安くなっている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・アパレルの不振が目立っている。この時期の主力商材であるコートを中心とした防寒衣料全般の動きが悪い。商品単価、客単価共に下落傾向である。また、お歳暮ギフト商戦も始まっているが、法人、個人共にマイナスである。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・客の購買意欲は、良くない。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・売上額が前年比100%と変わらない。3か月前と同じ状況である。少し気になるのは、客単価が下がっていることである。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・最高、最低気温共に、前年より高めに推移したため、鍋物などの秋冬食材の動きが鈍い反面、気温の低下とともに下がるはずの飲料などは、前年を大きく上回っており、食品全体としては既存店で103%と堅調に推移するも、衣料品は98%と低下している。
		スーパー（副店長）	来客数の動き	・冬のボーナス時期で、多少は良くなって欲しいが、長くは続かないとみている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・昼の時間帯が、今月はだいぶ落ちているようである。来客数も若干落ちているようだが、特別な理由はなく、景気的には変わっていない。		

衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・2～3か月前から比べると、人の出が比較的多い日も増えてきている。しかし、人が出てこない日も相当多くなっている。こうした動きから結果的には2～3か月前とほとんど数字的には変わらず、景気のよし悪しを単純に判断した場合には変わっていないという状況である。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車、中古車共に売上額、販売台数が前年を下回っている。現状、客は新規購入よりも、所有している車を修理して使用する傾向である。
乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・2～3か月前と比べて、新車、中古車の販売台数は、全くの横ばい状態である。そこそこ出ているものの、これといって大量に売れるということはなく、変わらずに推移している。
乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・円安の影響により、食品や冬物衣料の価格が値上がりしている。
住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・原価の上昇により売価が上昇しているものの、売上点数は横ばいである。見かけ上の売上は、上昇しているように見えるが、内実は変化していない。
住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・前年11月は冬物の動きが鈍く低調な1か月であったが、今年はそれに輪をかけて不振である。来客数は落ち込み、日用消耗品は低価格志向がより強くなり、来客数の減少を単価で補う傾向も薄れてきている。
その他専門店 [燃料](従業員)	販売量の動き	・前月に比べて5%ほど増加しているものの、前年比では7%以上、減少している。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・前年同期との比較や、客の動き、売上は共に多少は良いとも思われるが、極端な違いはない。
一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・レストラン業だが、同業者から「全体的に悪い、来客数が少なく客単価も上がらず良くない」という話を聞いている。昼間は変わらないものの、ディナーの来客数が少なく、単価も低いことが原因ではないか。
スナック(経営者)	来客数の動き	・今年前半は各種イベント等もあり、かなり上向っていたが、イベント終了後にはすっかり元通りになってしまっている。暖冬気味でスキー場が、まだ当分の間は営業出来ないことも不安である。
都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・3店舗あるホテルの稼働については、県南の2店舗については良くなっている。県央の店舗については、稼働はほぼ横ばいである。しかし、県南店舗は、周辺の開発工事等の関係での稼働増と思われるため、その分を差し引くと、3か月前と変化なしという状況である。
都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・単価が持ち直しつつあることが好材料となっている。ただし、販売量は前年と比べ若干落ちてきている。そのため、売上自体はほぼ前年並みとなっている。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・来客数が伸びていない。
旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・個人客の動きは活発になり受注も増加しているものの、団体や企業の動きが良くない。企業の出張や視察などの受注が減少し始めている。特に動きが鈍いのは海外旅行で、前年同時期を割っている。しかしながら国内旅行は以前と変わらず、順調に推移している。
タクシー運転手	販売量の動き	・タクシー業界の場合、3か月前と比べてと言われても、比較にならないため、前年と比べるしかない。現在は、前年並みである。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・月の中ごろまでは良かったが、後半は動きが少し悪くなり、前年同月と比べて、1%の減少である。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・加入者の中でもテレビをあまり見なくなり解約するケースと、より多くのチャンネル、番組を見たいとセットトップボックスを増設するケースとに2分化する傾向である。
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・年末に向けて、機種変更控えもあり、例月とさほど変わらない。
ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・天候はほぼ安定し、大きなキャンセルはない。秋のゴルフシーズン後半、大型コンペは少なかったものの、2～3組のいろいろな種類のコンペが増えてきている。
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、それほど変化が見られない。

	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・来客数は依然横ばいで、単価もほとんど変わりない。相対的に販売量全体も変わりがない。また、各テナントの予約状況等についても変化はなく、総じて変わらない。
	その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・依然として、イベント参加者の年齢は、ある程度余裕のある40歳台以降が多い。
	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・相変わらず仕事の依頼数は少なく、社員の仕事量が減っている。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・年末を目前に、買い控え傾向にある。賞与の支給状況により購入に踏み切るかどうか、とみている。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・安価な土地物件については、若干引き合いも出てきているものの、まだ売物件が多く、実際にはなかなか成約に結びつかない。貸店舗、貸家等についても、当地では空室が目立っており、いまだに、撤収等も行われている感じがする。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・気温が高ければ、人出は多少なりとも良くなりそうなものだが、相変わらずの人出である。暖かいせいで、冬物を買求める人が少なく、かえってマイナスである。
	百貨店(副店長)	来客数の動き	・11月に入り入店客数、売上共に前年に比べ、1割落ち込んでいる。前年以上の施策を行っているものの、客が反応しない。カード会員向けの優待会を行った週ですら、他の週と変わらない。衣料品、お歳暮も、明日からは戻せるだろう、と毎日思いながら月末を迎えてしまった。数字を見るたびに何かの間違いではないかと思うほどである。ここまでの落ち込みは気温の影響だけとは考えにくい、他に明確な理由も見出せない。
	スーパー(商品部担当)	来客数の動き	・商圈内に新規出店があり、集客に変化が出ている。また、価格施策を行っても客の反応は薄い。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・当店に反対車線から車が入れなくなった影響で、苦戦している。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・今月は秋のいろいろなイベントがあり、観光客も割と多い月だったが、通常利用客の売上がやや低調で、全体的にはあまり良くない。時期的な問題だが、3か月前と比べてもあまり良くない状況である。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・来客数が減っているにもかかわらず、単価が上がっている。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・競合店の出店により、売上の減少が予想される。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・映像関連商材は回復基調にあり、金額比で台数では90%となっているものの、4Kテレビの伸びで単価は上がっており、売上は前年を上回っている。冷蔵庫や洗濯機などの単価も上昇しているが、数量比では前年をクリアしていない。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・先月ほどではないが、売行きは低位安定である。救いは車検整備など整備部門が、戻りつつあることである。
	自動車備品販売店(経営者)	単価の動き	・当店の販売量の減少もあるが、道路を通行する車の減少や、八百屋などその他の業種もかなり落ち込んでいるという話が入ってきている。
	住関連専門店(店長)	販売量の動き	・11月は前年よりも平均気温が高かったこともあり、ストーブ、こたつ、こたつ布団などの季節商材の売上はかなり鈍い。客は必要になるまで買わない傾向が顕著である。
	一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・昼は観光や仕事などで立ち寄る食事の客はいるものの、夜のアルコールを伴う動きは非常に弱い。
	一般レストラン(経営者)	販売量の動き	・前年同期に比べて、来客数、売上共に低下している。客単価はやや上昇したものの、この春に実施した値上げ率を考えると、やや低下していると言える。常連客の来店頻度も下がり、注文するメニューも一層安い単品料理になっている。
		スナック(経営者)	お客様の様子
	旅行代理店(所長)	来客数の動き	・9月に当地域を襲った大雨の影響もあり、週末は平年並みに戻ってきているものの、平日の来訪者、宿泊予約はかなり厳しい。

	タクシー運転手	お客様の様子	・街の中は、人通りがなく閑散としている。駅では電車から降りてくる人は大勢いるものの、タクシーを利用する人が全くいない。地方では流しのタクシーはなく、客からの電話により迎えに行くのだが、その電話もかなり減っている。	
	タクシー（役員）	お客様の様子	・人材不足で製造業全般に、タクシー利用が少ない。	
	通信会社（社員）	それ以外	・県内と隣県にある、年に数回利用していた自動車、パソコン部品、道具、書店等の専門店や、飲食店が次々に閉店している。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年と比べて、日並びが悪く、天候不順の影響などから、来客数は減少している。	
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・ライバルの安売り店を外から見ていると、少しずつ来客数が増加しているようである。安売り店の繁盛は、生活を節約する客が増えているため、美容に対する財布のひもは固くなっている。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・当地のような小さな町では、年末を迎えボーナスを出せない企業も多い。11月後半になり、急に活気がなくなっているようである。客は、日々の生活に追われており、美容に関心を持たず、今後も良くなる要素はない。	
	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	単価の動き	・自動車の整備、車検、板金塗装は、来客数も前年割れとなっている。来店しても見積箇所から当面の間は車検に合格するものや走行支障にならなければ未整備のままでも仕方ない、という我慢する姿勢の客が現状、全体の25%ほどになっている。	
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・3か月前と比べて、客の様子から更に厳しい状況になっていることが分かる。相見積りや競争は絶えずある。	
悪くなっている	一般小売店[衣料]（経営者）	来客数の動き	・今月は寒くなりつつあるが、学校関係の商品は動きが悪い。また、外国人観光客等も増えているものの、買物をしないので大変である。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・売上、来客数共に大幅に低下している。前年に比べ最高気温の高い日が多く、防寒衣料は極端に不振である。また、お歳暮商戦のシーズンだが大きく売上が落ちとしており、全体では3か月前と比べて、かなり悪化している。	
	百貨店（店長）	来客数の動き	・来店客の客足が、落ちている。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・客1人当たりの平均購入単価が低く、特売品はすぐに売り切れる。ただし、低単価の商品は売切れが早く、高単価商品は売残りが多くなっている。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今年発表の新型車に対して、新規来客が少ない。	
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・師走に向けたこの時期は通常、否応なく業務が増える。しかし、前年度比70%の売上確保が大変な状況であり、良くなる兆しは一向に見えない。	
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新しい情報がない。また、以前から計画予定であった物件はその後連絡がなく、中止せざるを得なくなったようである。	
企業動向 関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業 [環境機器]（経営者）	受注量や販売量の動き	・環境省よりスプレー缶、ガス缶について地方自治体に、市民から収集する際、穴開けをさせないようにとの通達が出ているようで、当社環境装置への問い合わせが増加している。新年度予算に向けて、計画が増えている。
	やや良くなっている	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・甲州ワインの人気に加え、今月のボジョレーヌーヴォー人気もあり、国産100%ワインの需要は、相変わらず衰えていない。
		化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・夏場の大きな自然災害の影響が無くなり、比較的順調に受注量が増えている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸出が増加している。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・取引先の観光業では、引き続き宿泊が良好である。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年11月に比べ、販促広告の出稿が10%程度増えている。
経営コンサルタント	取引先の様子	・企業間、地域間の格差はあるものの、建設業分野は押し並べて繁忙である。ラグビー人気やスポーツシーズンでもあり、一部のスポーツ衣料やファッション関係の繊維業界に上向きの動きがある。街なかの飲食店や個人向け業種の新規出店も相次いでいる。		

変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先からの受注量が減少しており、さらにWeb販売も著しく低下している。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年並みで売上に大きな変化はない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・たまに特注品が入るが大きな変化はない。低水準だが、なんとか維持している。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この2～3か月は取引先、受注量、販売量の動きはまずまずで、あまり変わらない状況である。まだ良いほうである。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では、中国の景気減速の影響を直接受けている企業は少ないものの、今後の方向性が見えにくい状況が続いている。
	金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・過当競争で、利幅が非常に減っている。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・工事等の立会いの仕事は増えているものの、当社が直接受注できる仕事は、横ばいかやや減少しており、トータルでの売上高は、あまり変わらない。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・今月のチラシ出稿量は、前年に比べ101.2%である。前年の11月が90.1%だったので、上向きとまでは言えない。量販店では、月末まで暖かい日が続き、冬物の売行きが極めて悪く、この2～3日でようやく例年の動きになったと聞いている。また、日刊紙の広告収入も今年の後半は落ち込んでおり、前年割れと聞いている。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・やや悪い状況が、ずっと続いているようである。
	社会保険労務士	取引先の様子	・原材料価格が上昇するなか、受注価格が厳しくなっている事業所は多い。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段変化はみられない。
	やや悪くなっている	食品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き
電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・船舶関係の仕事もしているが、通常当社売上の4割を占める取引先からの受注が、今月からゼロになっている。売上の4割減という非常に厳しい状況にある。
その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）		受注量や販売量の動き	・問屋を回ると、年末にかけて少しずつ動きが出てきたと言うものの仕入意欲はない。本来であれば一番商品が動く時期であるが、売上は前年に比べてマイナスで引き続き厳しい。ユーザー展も集客が難しく、前年並みの売上確保が精一杯の状況である。
建設業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・災害復旧の本工事の発注準備なのか、公共はとにかく動きが悪い。現場は忙しくなっているものの、民間を含めた新規受注はない。
輸送業（営業担当）		取引先の様子	・このところの気温が高く、当初予定の冬物家電やそれに付随する暖房、その他インテリア商品等の荷動きは2割ほど落ち込み、輸送依頼も下がっている。
不動産業（経営者）		それ以外	・空室、空店舗が目立つようになっている。
悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・パワーショベル向けの仕事が更に落ち込むとともに、他の産業でもロットサイズが小さくなり、売上の数字が上がらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の電話システムの販売が芳しくなく、生産数量が前月に引き続き下落している。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・建設業を営んでいる。現政権のもと2年連続で増加していた公共工事の発注額が、今年度は前年比14%減と急速に落ち込んでいる。3年前まで建設業は、10年以上続いた不況種であり、ここに来て好調な状況も崩れるようである。当社も厳しいなかで、経営の舵取りが難しくなってきている。
雇用関連 (北関東)	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き

	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・短期の製造業派遣が増え、求人数は増加している。
	人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・営業をしなくても、オーダーが次々に入ってきており、比較的決定しやすい長期派遣事務などの案件が目立ってきて、引き合いの強さを感じる。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・派遣会社からの求人が急増している。製造業の現場で多忙になっているようである。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数の減少傾向は継続しているものの、求人数減少の幅が求職者数の減少の幅よりも小さく、わずかではあるが、求人倍率の増加が見られる。
変わらない	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・取引先のある工場では、増産や仕事が増えたため、大分遅くまで残業をすることも多いようである。ただし、それに伴う従業員数の確保はなかなか難しく、受注を抑えるほどではないようだが、非常に苦労しているという話を聞く。その他、ホテル、宿泊施設関係も取引先であるが、前年の稼働に比べて、若干増えているところはいくつかある。ただ、季節的なものもあるため、それが先々どうなるかである。
	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・賞与支給の時期であるが、支給すらできないとしている企業もある。当然ながら、従業員の消費には回らない。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・飲食店は特に人手不足で、パート、アルバイトを募集しても応募が極端に少ない。求人全体では募集広告を掲載する企業は少なく、引き続き厳しい状況である。
	職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・製造業、運輸業、小売業、サービス業で前年に比べ、求人が増加しており、依然として企業の人手不足の傾向は続いている。ただし、派遣求人や臨時求人の占める割合が増加しており、安定した正社員での求人申込の比率は低下している。
	学校[専門学校] (副校長)	求人数の動き	・企業の新卒採用は、積極的であると感じる。本年度は、高校生の採用も、この時期に多くの会社で第3次採用試験が、実施されている。
やや悪くなっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・現状、3か月前と比べて、少し悪くなっている。世の中は多少忙しそうに感じだが、実際には仕事はあまりない。
悪くなっている	-	-	-